

町田市

農業委員会だより

発行・編集：町田市農業委員会・農業委員会だより編集委員会

町田市森野 2-2-22 Tel: 042-724-2169

新会長挨拶～第 28 期町田市農業委員会会長 横田 竜雄～



皆様、こんにちは。

このたび、第 28 期町田市農業委員会会長を務めさせていただきます横田竜雄です。農業委員会だよりを通じて、皆様にご挨拶申し上げる機会をいただき、大変光栄に思っております。

私は普段、植木の生産を行いながら、自然と共に歩む生活を送っています。町田市は、都市

の利便性と豊かな自然が共存する地域であり、多様な農業が営まれています。しかし、現代の農業は、気候変動や都市化、高齢化、さらには相続税等による農地の減少など、さまざまな課題に直面しています。

これらの課題に立ち向かうためには、地域の特性を生かし、多様な視点からの取り組みが必要です。私は、町田市農業協同組合の生産部会の活動や農商連携の活動さらに農業委員としての経験を活かし、持続可能な農業の実現に向けた施策を進めていきたいと考えています。

農業は地域の生活と文化を支える重要な基盤です。町田市の農業の魅力を広め、地域社会の発展に貢献できるよう、皆様と共に力を合わせて取り組んでまいります。皆様のご意見やご提案を心よりお待ちしておりますので、どうぞお気軽にお声をおかけください。

最後に、私たち委員一同、第 28 期の活動が実り多いものとなるよう、一丸となって取り組んでまいります。皆様のご理解とご支援を心よりお願い申し上げます。

今後とも町田市農業委員会をどうぞよろしくお願いいたします。



南町田で植木の生産を行う。
写真はご自身の植木畑で栽培している『ヤシの木』。

2025 年度農業委員会活動方針

- ① 農地の保全に向けた取り組み
- ② 農地の有効活用の推進
- ③ 農業振興施策の推進
- ④ 情報活動の推進
- ⑤ 農業と市民との架け橋活動
- ⑥ 最適化活動の推進

東京都農業会議における「令和 7 年度農業委員会活動推進要領」を基本に町田市農業振興計画の趣旨に基づき、農地の保全および利活用を進めるため、左記の活動指針を展開します。

新しい農業委員・農地利用最適化推進委員の紹介

町田市農業委員会では、2025年3月31日の任期満了に伴い、町田市による農業委員の募集が行われ、選考の結果14名が選出され、議会の同意を得て市長より任命されました。また、農地利用最適化推進委員については、町田市農業委員会の選考の結果6名が選出され、会長より委嘱されました。

なお、2025年度第1回農業委員会総会が4月1日に開催され、会長に横田 竜雄委員、会長職務代理に土方 明委員がそれぞれ互選され、就任しました。

退任された委員の皆様、農業委員会活動にご尽力いただき、ご苦勞様でございました。

第28期農業委員会（20名）

◆南地区

会長



横田 竜雄
(農)

鶴間第一～第二、町谷、
町谷原

新任



佐藤 和彦
(農)

金森第一～第二、西田

新任



細野 修一
(農)

小川第一・第三、小川台、小川下、
小川辻（つくし野、南つくし野）

◆鶴川地区

新任



廣瀬 秀一
(推)

小野路第一～第三、下堤

石坂 丈芳
(農)



野津田第一～第二、綾部、
野津田東部

新任



蛭田 淳一
(推)

成瀬第一、西ノ久保、成瀬原、
三ツ又、成瀬中村、山吹、
奈良谷戸、高ヶ坂第一～第二

新任



秋本 豊視
(推)

金井第一～第三、金井東部・木
倉、井の花、大蔵中央・西部・東
部、関山

新任



榎本 茂生
(農)

真光寺西部・東部、広袴



園部 直孝
(農)

能ヶ谷第一～第三、
上三輪第一～第三、下三輪

新しい農業委員・農地利用最適化推進委員の紹介

◆町田地区

会長
職務代理



土方 明 (農)

新任



五十嵐 義則 (農)

新任



平本 忠夫 (推)

森野第一～第二、森野中村

原町田第一～第三、
南大谷第一～第二、玉川
学園、東玉川学園、(中町)

今井、後田、原、東、向村、
宿、下、(本町田、旭町)

◆堺地区

新任



白井 友昭 (農)

新任



宮崎 政明 (農)

新任



圓山 茂 (推)

上・下馬場、小山中村、片所、
沼東部・西部、御獄堂、田端

三区、下相原第一～第五

丸山、中相原、
大戸東部・中部・西部

◆忠生地区

新任



井上 昭男 (農)

新任



浅沼 稔 (農)

新任



志村 秀夫 (農)

函師東部・中部・西部、
上山崎、下山崎

八坂、上・下横町、
木曽中央、上宿

上根岸、下根岸、矢部第一～
第二

新任



森 清 (農)

新任



清水 茂 (推)

常盤、平、谷戸、下根

大善、薄山、関堂、竹桜、大竜

◆項目説明

担当地区(支部)

※(農): 農業委員

(推): 農地利用最適化
推進委員

第 66 回東京都農業委員会・農業者大会受賞者紹介

例年開催されている、東京都農業委員会・農業者大会において、表彰伝達式が行われ、市内農業者の方々が次の賞を受賞されましたのでご紹介いたします。

【農業後継者顕彰受賞】

＜東京都農業会議会長賞＞

高木 翔汰郎 様（図師町）

2021年に就農し、認定新規就農者になられ、祖父より受け継いだ農法でナス、ニンジン、ブロッコリーを中心に栽培されています。収穫した農作物は主に、アグリハウスや地域のスーパーへ出荷されています。

2023年からは、町田市農業協同組合青壮年部会に加入され、積極的に勉強会に参加することで、品種の特徴やトンネル栽培といった技術を学ばれました。習得された知識を活用し、端境期がない安定した経営を目指して努力を重ねておられます。また、2024年10月より認定農業者になられ、減農薬で、安全性の高い野菜を消費者へ提供することを新たな目標とし、日々農業に尽力されています。



【農業功労者感謝状受賞】

佐藤 誠一郎 様（南大谷）

農業委員会に2012年10月から2019年3月まで2期6年6ヶ月在職され、2期目に米作り農業体験委員会副委員長を務め、町田市の農業の啓発に尽力されました。

また、農業委員会退任後も、市民参加の「米作り農業体験」の内容に賛同し、2019年から7年間、米作り農業体験協力員として、田植え稲刈り指導や必要資材の提供など、事業の協力をしていただいております。

この事業は、町田市農業委員会および町田市農業協同組合が共催しているもので、田植えや稲刈りといった作業を体験することで、農業の大切さを体感し、農業への理解を深めてもらうための取り組みです。この事業の推進に佐藤様は欠かせない存在となっています。



農業委員会と認定農業者との意見交換会

今年も、2月5日に農業委員会と認定農業者との意見交換会を実施しました。意見交換会では、獣害による困りごと、それに対する補助金の話、後継者問題の話、認定農業者連絡協議会を盛り上げていきたい話など様々なご意見を認定農業者から頂戴し、大変実りのある会となりました。

また、意見交換会の前には、認定農業者連絡協議会学習会が開催され、「農薬による病害虫の防除、効果的な雑草対策について」、全国農業協同組合連合会 川口 夕夏 様、秋山 清 様より講演していただきました。農薬の使い方について、大変参考になりました。



作ろう!「地域計画」 ～つなげよう 育てた農地を 次世代に～

(農業経営基盤の強化に関する計画)

町田市農地利用地域計画では、地域農業が持続的に発展するために、「どこの農地で、誰が、どのような農業を行うのか」といった10年後の農地利用の在り方や、将来の地域農業の在り方を明確化しました。



農業振興課の窓口で閲覧できますので、経営規模拡大などにご活用ください。

地域計画は、策定後も継続的な見直しが重要です。今後も皆様のご協力をお願いいたします。

1. 見る

- 827件の市街化調整区域の農地所有者や耕作者にアンケートを行い、423件から回答
- 15.8%が農業経営の縮小や離農を検討中
- 62.9%が農地の承継先を未定と回答
- 縮小希望面積が、拡大希望面積の約3倍
- 農地貸借の活発化、担い手の育成が重要
- 農地利用の意向把握を拡大するため、アンケートを継続

See

2. 分析

- 農業委員会と市で協議し、調査を基に、地域計画の素案を検討
- 市街化調整区域がある堺、忠生、鶴川の3地区で、協議や説明会を開催
 - 農業関係機関等が参加する検討委員会を開催

Think

4. 実行

- アンケート結果を基に農地パトロールを行い、貸したい農地の登録を促進
- 農地あっせん事業で、農地を貸したい人と借りたい人をマッチング
- 安心して貸借できる農地中間管理事業で活性化
- 「農地あっせん事業」と「農地中間管理事業」を広く周知

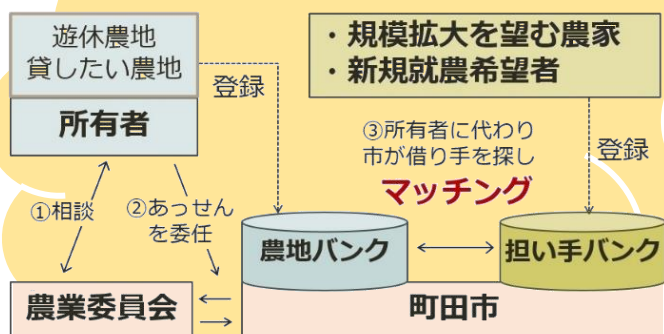
Do

3. 計画

- 町田市農地利用地域計画を2025年3月31日に策定
- 農業振興課の窓口で、農業者の利用意向がわかる目標地図や計画書が閲覧可能

Plan

見つかる! 町田市農地あっせん事業



安心な貸借! 農地中間管理事業



詳細については、お気軽にお問い合わせください。

農業委員会事務局 Tel 042-724-2169 経済観光部農業振興課 Tel 042-724-2166

農業委員・農地利用推進委員からのお知らせ

●農地の適正な管理をお願いします！

市街化区域内の農地（生産緑地含む）は住宅地に囲まれ、市民の方の目に触れる機会も多く、ご意見や苦情が寄せられています。このような実情に対し農業委員会としては、各担当地域の委員による現地調査等を行い、農家の方へ内容をお伝えし、具体的な対応をお願いしているところです。6月は生産緑地の肥培管理を確認している時期ですので、現地調査の際、農地に立ち入らせて頂くことがあります。農家の方々にはご容赦下さいますようお願い申し上げます。

●農地利用状況調査（農地パトロール）を実施します！

農地の保全管理の徹底と利用促進を図るため、7月から8月にかけて市街化調整区域における農地利用状況調査（農地パトロール）を実施します。昨年の実施時は多くの農地が適正に利用されていた一方で、十分に活かされていない農地も一部見受けられました。特に生産緑地及び相続税納税猶予農地は、税制上の優遇措置を受けており、耕作義務が課せられています。農地の肥培管理をしっかりと行わなければ優遇措置が見直される可能性があるとともに、周辺の方々のご迷惑にもなります。改善が必要とされた農地については、肥培管理の指導や、今後の農地利用に関する意向調査を実施させていただきます。

熱中症に十分ご注意ください！

農作業をされる際は、熱中症予防に以下の点を心がけるようお願いします。

- 水分・塩分補給…喉が渇いていなくてもこまめに水分及び塩分を補給するようにしましょう。
- こまめな休憩…日陰になる場所など、できる限り涼しい場所で適宜休憩をしましょう。
- 天気予報と体調…急に暑くなる日は要注意です。体調不良時はムリをしないでください。
- 服装…帽子で日差しを遮り、できる限り熱を逃がしやすい服装にするようにしてください。
- 安全な作業環境…作業はできるだけ2人以上で、暑いハウスの中は風通しを良くしましょう。



●農業者年金に加入しませんか？

農業者年金は加入者・受給者数に左右されにくい積立方式での公的年金です。支払う保険料の全額が社会保険料控除の対象となり、節税の面からも有利です。農業者の皆さま、ぜひご加入ください。

●全国農業新聞を読みませんか？

全国農業新聞は農業者の公的代表機関である、農業委員会系統組織の全国農業会議所が発行する農業総合専門紙です。

★ 購読料 月700円 ★ 発行日 毎週金曜日

農業委員会事務局の新体制（4月1日付け）

- 農業委員会事務局長（経済観光部北部・農政担当部長） 粕川 秀人
- 農業委員会事務局課長（経済観光部農業振興課長） 林田 隆幸
- 農業委員会事務局係長 清水 明
- 農業委員会事務局係長 東泉 英夫
- 農業委員会事務局主任 神戸 陽平

- 農業委員会事務局主任 加藤 純平
- 農業委員会事務局主事 北原 紘子



編集後記

新年度となり、第28期の町田市農業委員、農地利用最適化推進委員の活動が、新たに始まりました。広報編集委員会も新たなメンバーを迎え引き続き農業者の皆様にとって、情報のわかりやすい誌面づくりをしてまいります。最後に第27期の広報編集委員会の方々、3年間本当にご苦勞様でした。

【編集委員長】 臼井 【編集副委員長】 森 【編集委員】 横田、土方、蛭田、平本、廣瀬
農業委員会事務局 Tel 042-724-2169 経済観光部農業振興課 Tel 042-724-2166